



何かに“いちばん”の自分がある

徳山大学広報

# 学園台の風

第60号

平成22年3月20日 発行

## 学生生活のいま

経済学部ビジネス戦略学科1年

小橋川 芽生さん

(沖縄県立小禄高等学校出身)

沖縄から、最初来た時は不安が多かったですがいろいろな人出会い、この1年間で、自分自身もずいぶんと成長できたと思います。学業もサッカーも両立させて、これからも頑張っていきたいと思います。



発行 徳山大学

撮影・編集 中村道陽

山口県周南市学園台

TEL 0834-28-0411 (代)



# 徳山大学での19年

徳山大学学長 杉光英俊



## 1. 赴任

平成3年、上智大学理工学部から徳山大学に赴任することになったきつかけは、当時私が勤務していた上智大学の理事長から紹介があったからです。理事長は山口県の出身で、当時の徳山大学学長とは高校時代の友人だったと聞いています。佐賀県出身だった私は、東京へ向かうたびに車窓から見るコンビニートの威容に目を見張っていました。化学出身の工場大好き人間にとって徳山はあこがれの地でもありました。

当時の徳山大学は経済と経営の2学科を擁する経済単科大学でした。大学は緑に囲まれた静かなたたずまいの中にありました。

## 2. 学長就任

平成13年、おもいがけず教員の選挙による学長選挙方法が導入され、これにより徳山大学で初めて選挙で選ばれた学長となりました。民主的に改革をすすめる必要がありました。民的という思いを新たにしました。

## 3. イメージアップ戦略

経済学部は伝統的な学部です。そのため逆に国公立大や有名大学との競争に打ち勝たなければなりません。女子学生には明るく楽しい雰囲気、多様化していく学生には新しいアカデミックな教育コンセプトが必要です。私は学長就任にあたり、大学改革大綱を発表し「学生中心主義」と「自己実現の支援」を掲げました。学生中心とは、教職員は、これまでのような大学中心の教育姿勢を一八〇度変えなければならぬということ、学生は自ら学ぶという自覚をもたなければならぬということです。この意識改革は簡単ではありませんでしたが、少しずつ理解され定着しつつあると感じています。本年度のキャッチフレーズ「何かに一番の自分がいる」は、職員の発案によるものですが、何か一つは好きなどころを伸ばして卒業してもらいたいという思いが表れています。

## 4. 福祉情報学部

徳山女子短期大学は地域に支えられて優秀な卒業生を輩出していましたが、いろいろな努力にもかかわらず入学者の減少を避けることはできませんでした。構造的な減少によるものだったからです。私が提案した文化情報学部ではなく実務型の福祉情報学部となりましたが、平成15年徳山大学は二学部の大学に成長することができました。その後の福祉の低迷は予期できなかった要素によるものですが、時代が必要とする学部であり、今後の展開を待ちたいと思います。

## 5. EQ教育

自己実現の支援とは、意欲を育む教育を行うという意味です。卒業生の動向をみると、成績がよかった学生が社会で活躍しているとは限りません。就職意欲をもてない学生もいます。自己実現には成績とは別の能力が必要であることがわかります。全国に先駆けて人間力講座を開講し、EQ教育を導入しました。EQはIQに対比される指数で、米国の心理学者が企業トップ数千人の調査結果をもとに開発した人間力指標です。人間力を培い、前向きに、目標をもって生きてもらいたいと思います。

## 6. 二学部構想

大学の歴史をみると、有力大学は常に学部や学科の新設と入れ替えを行いながら成長しています。異分野三学部があれば、様々な変化に対応していくことができます。縮小均衡の経営方針のもとでの構想を実現していくため、経営学科をビジネス戦略学科と改称し、新しいビジネスを自由に取り入れることができるように特任教授制も導入しました。知財開発やスポーツマネジメントコースは経済学部を牽引するまでになり、経済学科を変更して株や金融などの実戦的な科目を配置した現代経済学科も入学者が上昇に転じました。経済学部はようやく長かったトンネルを脱しつつあります。エクステンション





ンセンターは現在月千人以上の市民を集めて生涯教育学部としての機能を果たし、新設の地域連携センターも地域の活性化のために新たな役割を果たし始めました。

## 7. おわりに



隣接する徳山高専との連携は周南市を含む三者協議会に発展し、協議会を通じて両校の地名を同じ学園台に統合することができました。残された課題も少なくありませんが、もともと改革は私一人ですすめてきたわけではありません、後は皆さんに託して任期が終わる平成22年3月末をもって徳山大学を退任させていただくことに致しました。ふりかえってみますと、50才から68才までの19年間を徳山大学で過ごし、その間には学内外に多くの友人や知人、諸先輩との出会いを得ました。この場を借りて心からお礼を申し上げます。皆さんのおかげで、今では山口県が私のふるさとなったように思えます。(2010・3)

※杉光英俊学長は平成22年3月31日付で、任期満了に伴い、退任となりました。

後任として、平成22年2月22日に開催された理事会において岡野啓介経済学部長が選出されました。新学長の任期は平成22年4月1日より4年です。

## 佐原昌弘教授・山岸憲治教授 退任

佐原先生山岸先生が定年退職を迎えられました。

佐原先生は、昭和46年の本学の創立以来ご指導いただきました。先生は、理事・評議員・学生部長・図書館長などを歴任されました。最終講義の経済学史では、「歴史に学ぶことの大切さを学んだ」と締めくくられました。

山岸先生は、昭和51年に着任され、当時の先端をゆく電子計算機室の運営委員として情報教育の推進に努められました。その後、理事・評議員・学生支援センター長など歴任されました。最終講義では、ノーベル賞受賞論文に先生の論文が引用されたエピソードなど交え、徳山大学における情報教育の発展についてお話をされました。先生方の今後の、ご健勝を心よりお祈り申し上げます。



### 「徳山大学サイバーキャンパス」は・じ・ま・る！

本学は2010年度をサイバーキャンパス元年位置づけ、ICT技術をフルに活用した新たな教育改革と学生キャリア形成支援に取り組んでいます。

(1) 新入生全員に軽量のモバイルノートパソコンを支給します。軽量で常時の学内携行に耐え、3GBのメモリーに250GBのHDにOSはwindows7に加え、統合ソフトOfficeをインストールしたものです。

(2) 新年度の科目には「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」を必修科目として新設し、ネットワーク利用にまつわる基礎的なことについて、徹底的に教育します。

(3) 学内LAN(学内の情報ネットワーク)を再整備し、教室はもちろん、学生会館や、食堂など、学生さんがよく利用するスペースでも「無線を介したネットワーク接続」を可能にします。

(4) キャリア教育から就職に至るまでの「キャリア形成」を支援する学生の個人カルテ(データベース)を構築して、各種の学内連絡事項についても学内サーバーを介して取得できるようにシステム化します。学生の皆さんには、これらのシステムを有効に活用して今まで以上の豊かな「学生生活」と「自己形成の場」となり、柔軟な情報処理教育を身につける機会になるものと期待しています。



# 卒業生の声

この春、卒業される学生の皆さんの声を

ご紹介します。

**重本 貴好** 君 (経済学部ビジネス戦略学科)

(山口県立厚狭高等学校出身)



いろいろな面で、充実した4年間でした。クラブ活動では、

陸上競技部に所属し、中国大会800Mで6位に入賞することもできました。

就職の方も、自分の思う方向に決まり満足しています。たぶん最初は営業の方に回るとは思いますが、同期でトップの営業成績を上げていけるよう頑張りたいと思います。(日本生命相互会社 内定)

**田中 俊博** 君 (経済学部ビジネス戦略学科)

(山口県立宇部商業高等学校出身)



多くの人との出会いの中で、いろいろなことを学ぶことが

できました。就職活動も順調に行うことができ、自分の思うところにすむことができました。人から頼りされる人材となるよう、努力していきたいと思っています。(株式会社三井住友銀行 内定)

**呉 書文** 君 (経済学部ビジネス戦略学科)

(中国浙江省温州市出身)



私が徳山大学4年間で得たものは、目標を見つけ最後まで諦めずに努力する精神力と人間

関係を築くことの大切さを知ったことです。

4年間に勉強に取り組んでいく上で成績が上がる時もあれば伸び悩む時期も当然ありました。でもそんな時自分で決めた目標を低くしたりせず常に高い目標を持ち続け、それに向かって努力することだけを考えました。その結果、学習面でも精神面でも弱い自分に打ち勝つ強い自分になることができたように思います。これからも沢山の人が考え方に会えることができそうです。しかし自分が何をしたいと考へ、何を選択するかということはこれまで以上に強く求められます。目標を早く見つけ自主的に学ぼうとする気持ちを引き出し、進んで多くの人々と接する機会を大切にしていきたいと思えます。これまでに、背中を押してくださった先生方や友達に今改めて心から感謝しています。

(神戸大学大学院進学)

皆さんおめでとうございました。

今後のますますのご活躍をお祈りします。



徳山大学 経済学部 ビジネス戦略学科 知財開発コース

## マンガ・イラスト キャンパス



マンガやイラスト、映像制作などのコンテンツビジネスの学べる

徳山大学の知財開発コースでは、装いも新たに、マンガ・イラスト大好きな皆さんのためにイベントを企画しました。

◆徳山大学の「知財開発コース」で学ぶことって何？

ユニークなカリキュラムについてご紹介します。

◆マンガ・イラストを実際に描いてみよう！

プロのマンガ家の先生の実技指導でを受けながらしく、学べます。

※両日とも自分の作品の持ち込みOK 講師のマンガ家の先生から、丁寧にアドバイスがもらえます。

2010年

5月22日(土)

山口県周南市

徳山大学

11:00~15:30

6月19日(土)

福岡県北九州市

ブルーウェーブイン小倉

午前の部 10:00~

午後の部 13:30~